

乗って守ろう！公共交通

金剛ふるさとバスのロゴマークが決定！

金剛ふるさとバスの利用促進を図るため、大阪芸術大学の協力のもと作成した、ロゴマークが決定しました。
 ※ロゴマークに込めた思いなど詳しくは、右図をご覧ください。



間交通政策室（内線417）

公共交通は、誰でも利用できる交通手段として広く普及してきましたが、昨今、自家用車の普及、生活スタイルの変化などにより利用者が減少しています。

本市には、電車（近鉄長野線、南海高野線）や、バス（南海バス、近鉄バス、金剛ふるさとバス、レインボーバス）、タクシー（大阪第一交通、近鉄タクシー）などさまざまな交通手段が揃っています。

公共交通は皆さんが利用することで、運行本数の充実や路線の利便性の向上といったより良いサービスにつながっていきます。普段、自家用車を利用し、公共交通を利用していない人も一緒に、公共交通の利用を考えてみませんか。

公共交通の現状

公共交通を取り巻く環境は、昨今の少子高齢化による人口減少、自家用車の普及、物価高騰による経費の上昇などにより、厳しい状況が続いており、全国的に、鉄道や路線バスの廃止が相次いでいます。特に路線バスでは、乗務員不足が深刻な問題となっています。

本市でも路線バスの廃止が：

本市では、東部や隣接町村を運行していた旧「金剛バス」が、乗務員不足や利用者の減少などの問題により令和5年12月に廃止となりました。

そのため、代替交通として「金剛ふるさとバス」の運行を開始し、沿線の人の移動手段を確保しています。

利用者数の維持が必要

公共交通は利用者によって支えられているため、利用者が少なくなると、減便を余儀なくされ、それが続くと、さらなる減便や廃止となる可能性があります。さらなる減便や廃止を防ぐためには、利用者数の維持が必要です。

公共交通で近場にお出かけしてみませんか？

公共交通も自家用車も、日常生活に必要な手段で、それぞれメリットがあります。大切なのは、移動手段を使い分けることかもしれません。

目的地、同行する人数によっては、公共交通を利用する方が、コストが安くなる場合もあります。

例えば… 富田林寺内町に行ってみよう！

富田林寺内町に行く場合、近鉄富田林駅や金剛ふるさとバス「塚筋」停留所から徒歩圏内であるため、電車やバスを利用すると、スムーズにアクセスできます。

寺内町にはさまざまなスポットがあるので、散策にピッタリです。



市内や周辺地域には、観光スポットやグルメスポットがたくさんあり、イベントも開催しています。公共交通を利用してお出かけしてみませんか。



※詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。

乗って感じる！公共交通のメリット

■安心して移動できます

公共交通は、運転する必要がないため、子どもから高齢者まで安心して移動できます。

■移動時間も有効に活用できます

運転する必要がないため、移動中に読書、スマートフォンでの情報収集などが可能です。



■運転のストレスがなくなります

自家用車の運転時には、運転する時間帯、気象条件、交通ルールなど、さまざまなことを考える必要があります。

■目的地での駐車場の心配がありません

目的地で駐車場を探す必要がありません。また、駐車料金も気にする必要がありません。

■健康につながる

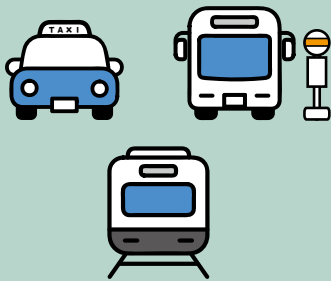
徒歩などで移動する機会が生まれるので、運動量が増え、健康につながる移動手段といえます。

■環境に優しい

公共交通は、一回で多くの人を運べるため、一人当たりの二酸化炭素（CO2）排出量やエネルギー消費量が自家用車に比べて格段に抑えることができます。

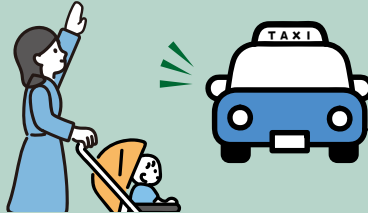
公共交通を守るための3つのお願い

1 公共交通に関心を



公共交通は、「あつて当たり前」のものではなくなってきています。少しの利用でも公共交通を利用した外出を検討ください。

2 公共交通のご利用を



電車やバス、タクシーに乗ることは、公共交通は必要だという意思表示になります。市民の皆さん一人一人の利用が公共交通を支えます。

3 事前に確認



事前に経路を確認し、スケジュールを立てたり、乗車時に交通系 IC カードを利用したりすることで、当日は余裕を持ってスムーズに移動できます。

地域公共交通の担い手を募集！

市内を運行する近鉄バスおよび南海バスでは、安定的な運行を維持するため、バス乗務員の確保が急務となっています。

両社では、バス車両の運転体験会の開催や、大型2種免許取得の補助などのサポート制度の充実など、さまざまな取り組みを実施し、女性乗務員やこれまでバス車両の運転経験の無い異業種からの転職者も多く活躍しています。バス乗務員は随時募集されていますので、公共交通の未来を支えるため、地域の笑顔を運ぶ仕事をしてみませんか。



▲詳しくはこちら